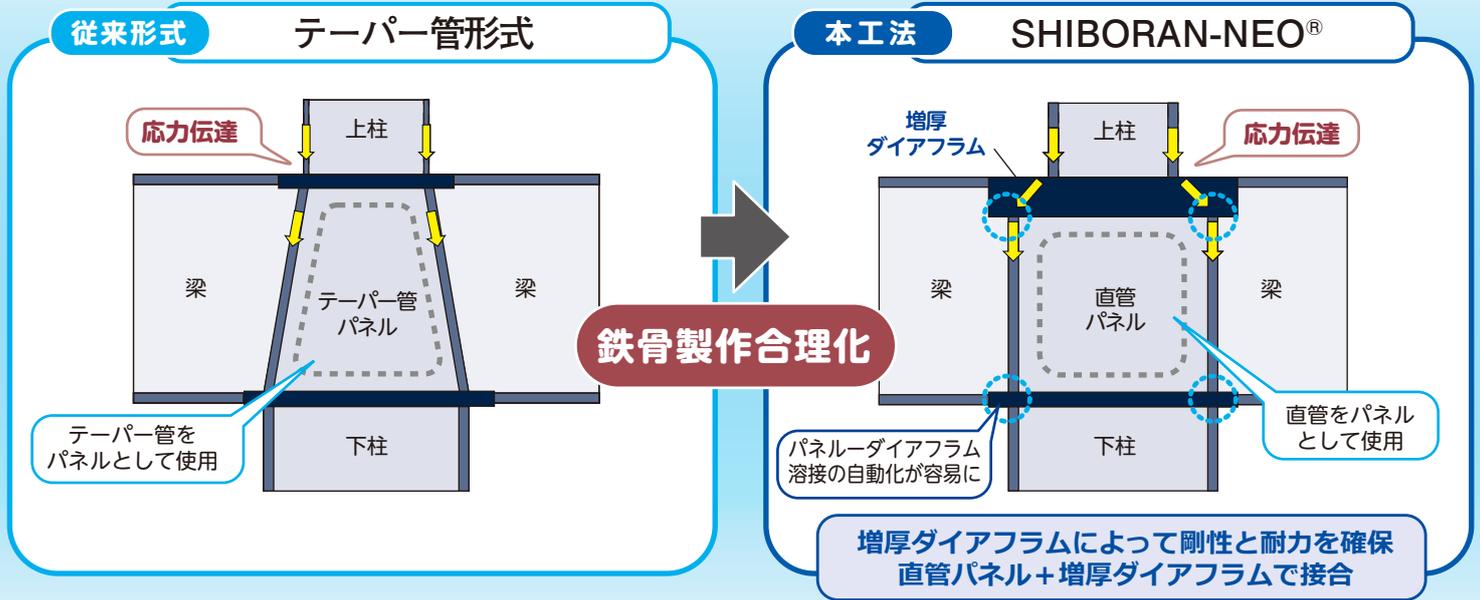


上下階で径の異なる柱を増厚ダイアフラムで接合するJFEの異幅仕口工法です



パネルーダイアフラム溶接の自動化が容易 → 施工省力化

工法の概要

『SHIBORAN-NEO®』は、上下階で径の異なる柱を直管パネル+増厚ダイアフラムで接合する工法です。上ダイアフラムを増厚することにより、柱の応力をスムーズに伝達し、接合部の剛性と耐力を確保しています。また、パネルを直管とすることにより、パネルーダイアフラム溶接の自動化が容易になり、鉄骨製作合理化のニーズにも対応しています。

● テーパー管と同等の設計を合理化

- ・増厚ダイアフラムによるスムーズな応力伝達
- ・直管パネル+増厚ダイアフラムにより、テーパ管と同等の設計が可能
- ・上下柱ーダイアフラム溶接部と同様にパネルーダイアフラム溶接の自動化が容易に

● 厚肉、高強度等、幅広い鋼種のコラムに対応

- ・BCR295に加え、厚肉のJBCR®295、高強度のJBCR®385にも対応

● 径差150mmまでの上下柱径差に対応

- ・径差50mm、100mm、150mmの3径差に対応

● 上柱の偏心に対応

- ・偏心なしに加え、1方向偏心、2方向偏心にも対応



(一財)日本建築総合試験所
建築技術性能証明
GBRC性能証明第22-26号
(2022年12月24日)

適用条件（概要）

対象構造物

適用建築物の構造種別は、鉄骨造、または鉄骨造と鉄筋コンクリート造、その他の構造とを併用する混合構造とする。

軸力比

上柱に作用する軸力比は0.7以下とする。

対象鋼材

〔柱 材〕 ロールコラム：JFEスチール(株) 製 又は プレスコラム：(株) セイケイ 製

	規格	種類の記号	製造者
大臣認定材	建築構造用冷間ロール成形角形鋼管	BCR295	JFE スチール (株)
	建築構造用厚肉冷間ロール成形角形鋼管	JBCR®295	
	建築構造用熱間成形継目無角形鋼管	BSH325	
	建築構造用高強度冷間ロール成形角形鋼管	JBCR®385	
	建築構造用冷間プレス成形角形鋼管	BCP235, BCP235C, BCP325, BCP325C	(株) セイケイ
	建築構造用高性能冷間プレス成形角形鋼管	BCP325T	
	建築構造用高性能冷間プレス成形角形鋼管	G325TF	
	550N/mm ² 冷間プレス成形角形鋼管	G385B, G385C	
建築構造用高性能550N/mm ² 冷間プレス成形角形鋼管	G385T, G385TF		

〔BCR〕〔BCP〕は（一社）日本鉄鋼連盟の登録商標です

〔ダイアフラム材〕 SN材、鉄連規格材、TMCP材のC種：JFEスチール(株) 製

	規格	種類の記号	製造者
JIS規格材	建築構造用圧延鋼材(JIS G 3136)	SN400C, SN490C	JFE スチール (株)
日本鉄鋼連盟規格材	建築構造用520N/mm ² 鋼材	SM520B-SNC	
大臣認定材	建築構造用490N/mm ² TMCP鋼材	HBL®325C	
	建築構造用520N/mm ² TMCP鋼材	HBL®355C	
	建築構造用550N/mm ² TMCP鋼材	HBL®385C	

適用範囲

下柱	上柱	□250	□300	□350	□400	□450	□500	□550
□300	●							
□350	●	●						
□400	●	●	●					
□450		●	●	●				
□500				●	●			
□550				●	●	●		
□600					●	●	●	
□650						●	●	
□700							●	●

● 適用可能

上柱はJFEスチール(株)製のロールコラム、
下柱はJFEスチール(株)製のロールコラム
又は(株)セイケイ製のプレスコラムとする

その他構造規定

- ・ブレースが取り付けく接合部には用いない。
- ・上柱底部と上ダイアフラムに羽根板を取り付ける等の補強は行わない。
- ・溶融亜鉛めっき処理を行う接合部には適用しない。
- ・CFT柱等の大径孔を設けた上ダイアフラムを用いる接合部には適用しない。

※設計にあたっては、当社で技術資料を作成します。詳細については、下記にお問い合わせください。



JFE スチール 株式会社

建材技術部 建築技術室

TEL: 03-3597-4129

FAX: 03-3597-3825

建材技術部 大阪建材技術室

TEL: 06-6342-0717

FAX: 03-6342-0756